

島根支部における医療費の状況と傾向

(第2版)

・医療費の総額と1人当たり医療費の年度推移

島根支部

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
医療費総額 (円)	38,767,023,446	39,148,540,294	39,702,462,482
		1.0%	1.4%
加入者数 (人)	270,220	268,774	265,445
		0.5%	1.2%
1人当たり医療費 (円)	141,087	143,351	147,202
		1.6%	2.7%
1人当たり入院 医療費(円)	45,472	45,810	46,736
		0.7%	2.0%
1人当たり入院外 医療費(円)	80,879	83,011	85,362
		2.6%	2.8%
1人当たり歯科 医療費(円)	14,736	14,529	15,103
		1.4%	4.0%

全 国

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
医療費総額 (円)	4,805,357,815,274	4,969,875,998,306	5,088,490,524,495
		3.4%	2.4%
加入者数 (人)	34,515,166	34,949,547	35,002,656
		1.3%	0.2%
1人当たり医療費 (円)	137,330	140,348	143,526
		2.2%	2.3%
1人当たり入院 医療費(円)	38,331	39,203	40,209
		2.3%	2.6%
1人当たり入院外 医療費(円)	81,902	84,194	85,936
		2.8%	2.1%
1人当たり歯科 医療費(円)	17,097	16,950	17,381
		0.9%	2.5%

(注1) 下段は、対前年度比の伸び率

(注2) 加入者数は、年度間の平均加入者数

(注3) 1人当たり医療費は、1人当たりの入院・入院外・歯科医療費を合計したものの

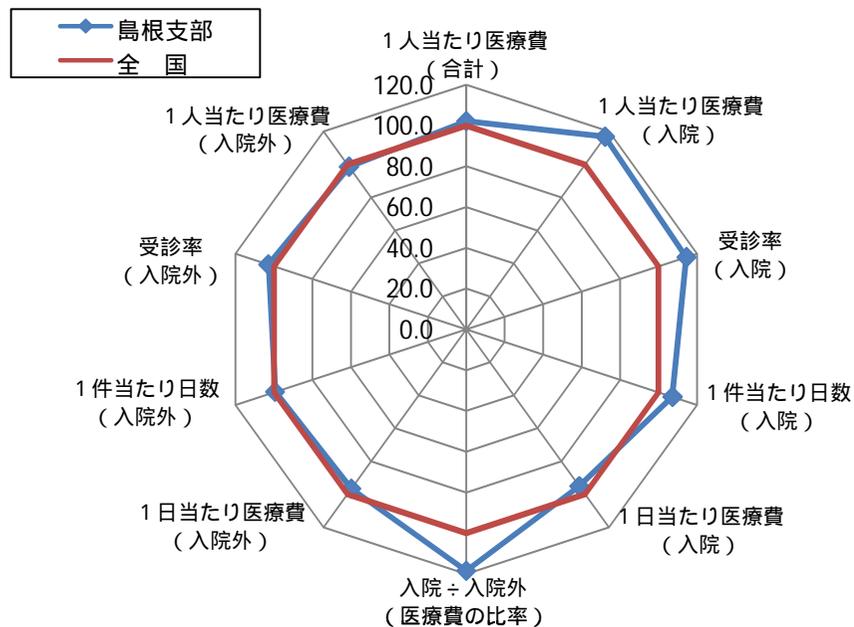
(注4) 1人当たり入院外医療費は、調剤分を含む

島根支部の状況としては、医療費総額の伸び率は、全国と比べ低いですが、加入者数が減少しているため、平成20年度の1人当たり医療費の対前年度比の伸び率は、全国の伸び率を上回っている。

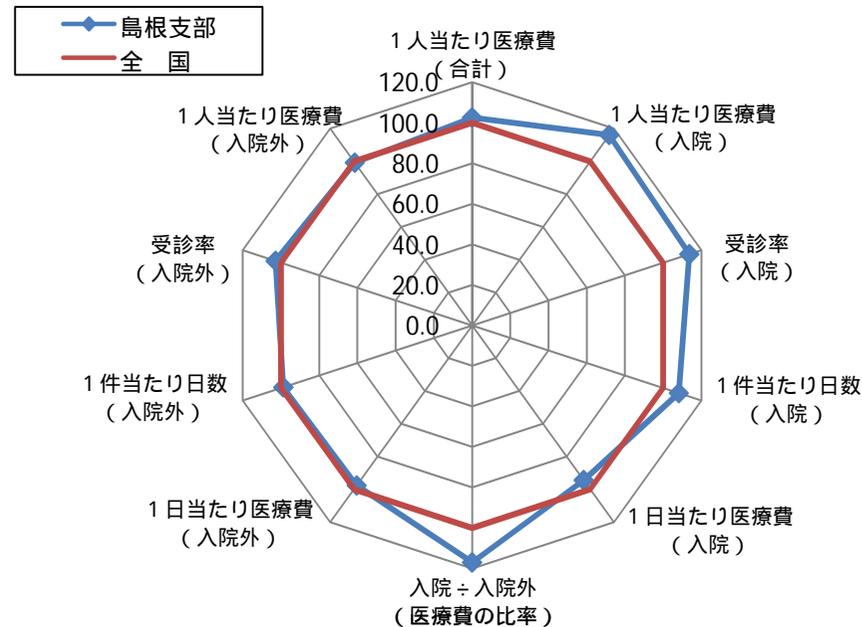
医療費をベースとした分析

1. 医療費に関するレーダーチャート

平成19年度



平成20年度



【参考】

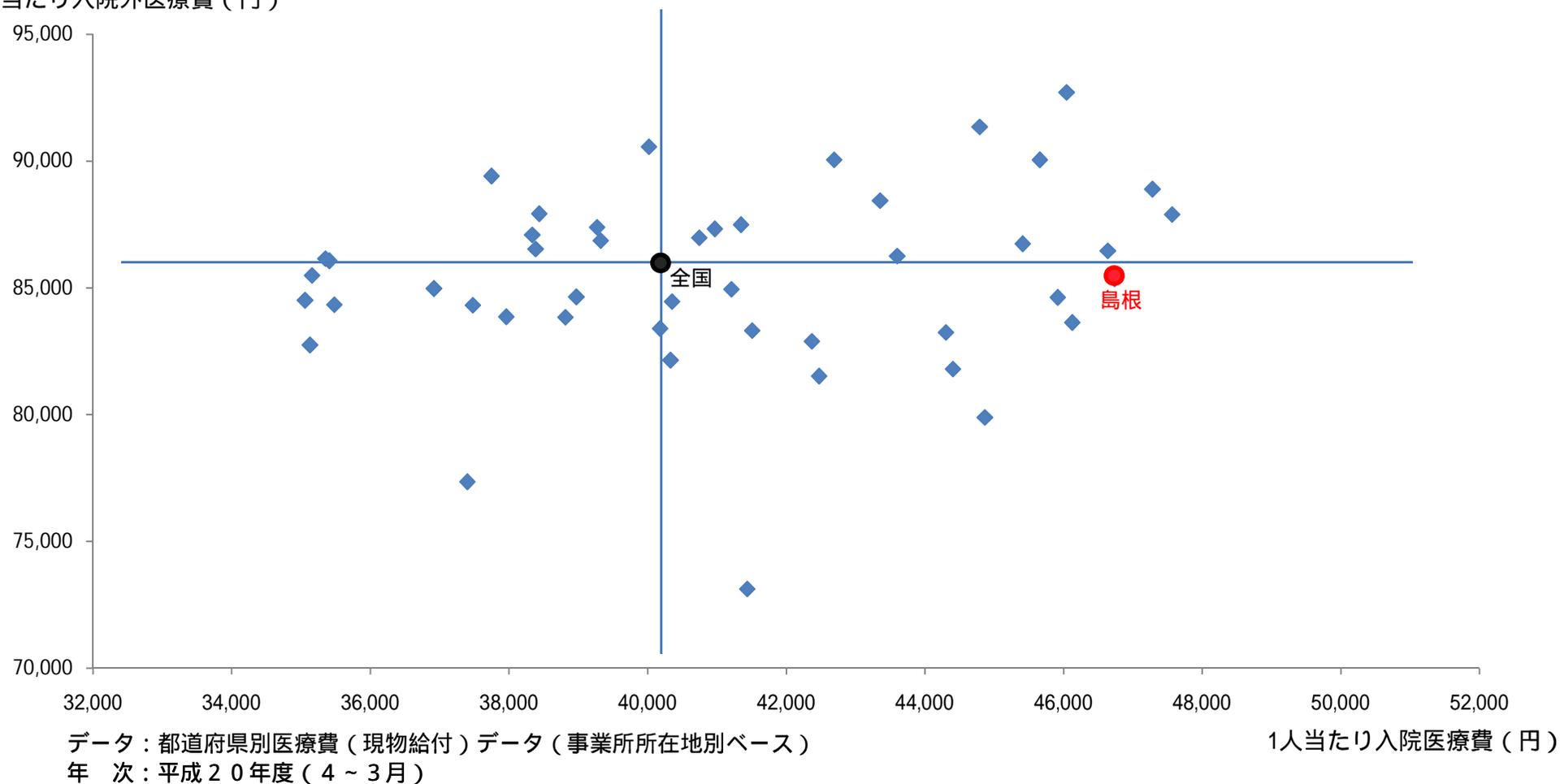
年度	1人当たり医療費(合計)(円)	入院				入院/入院外(医療費の比率)	入院外(調剤含む)			
		1人当たり医療費(円)	受診率(件/千人)	1件当たり日数(日/件)	1日当たり医療費(円)		1人当たり医療費(円)	受診率(件/千人)	1件当たり日数(日/件)	1日当たり医療費(円)
19年度	143,351	45,810	117.6	11.80	33,013.0	0.55	83,011	5,998.9	1.61	8,613.0
全国	140,348	39,203	102.7	11.00	34,689.8	0.47	84,194	5,833.5	1.62	8,907.3
20年度	147,202	46,736	115.1	11.87	34,206.4	0.55	85,362	6,008.20	1.57	9,032.4
全国	143,526	40,209	101.3	10.97	36,197.3	0.47	85,936	5,842.00	1.59	9,240.0

赤色の数値は、全国よりも高い項目

2. 医療費と医療費の構成要素との相関関係

(1) 加入者1人当たりの入院医療費と入院外医療費（平成20年度）

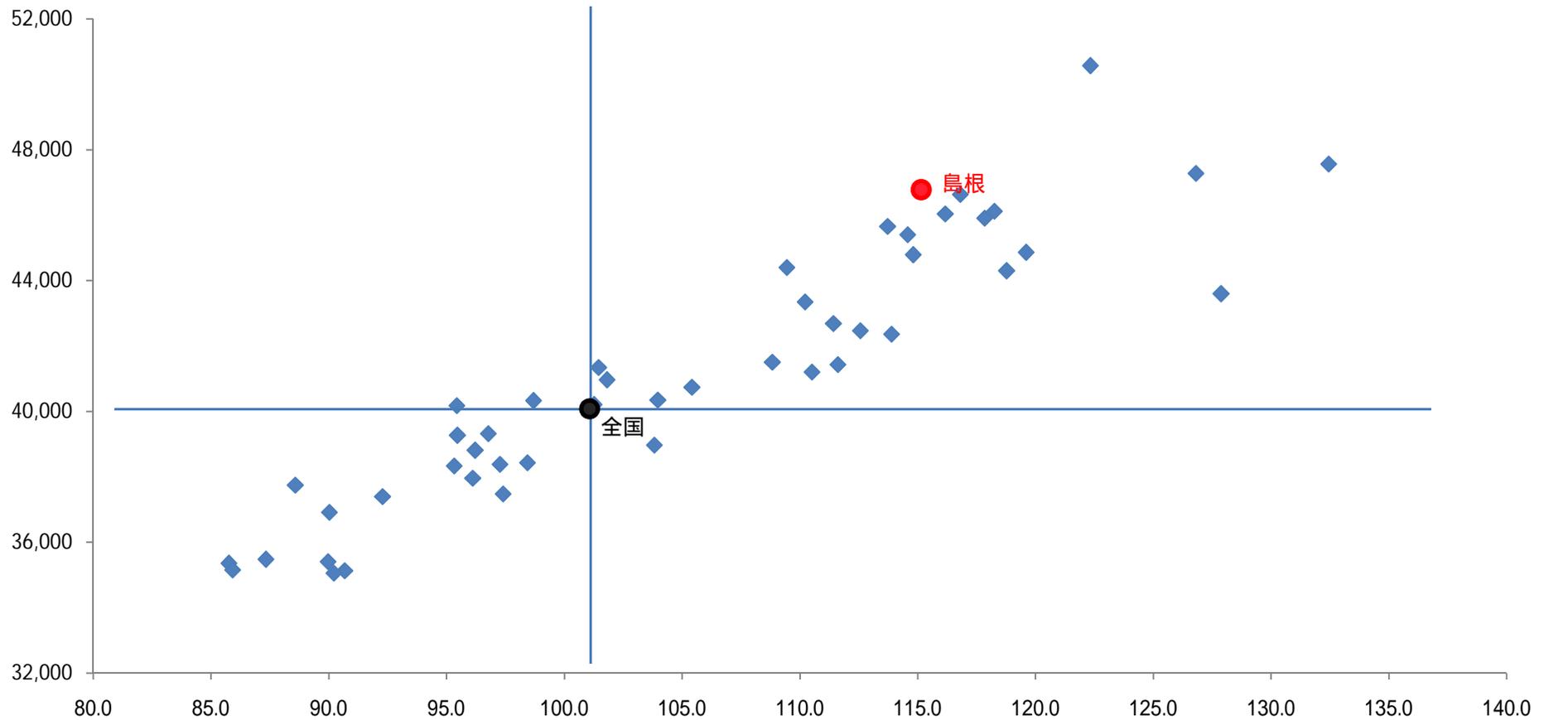
1人当たり入院外医療費（円）



島根支部は、1人当たり入院外医療費は全国値と同程度かやや下回るが、1人当たり入院医療費は大きく上回っており、他と比較しても高い金額である。

(2) 加入者1人当たりの入院医療費と入院受診率（平成20年度）

1人当たり入院医療費（円）



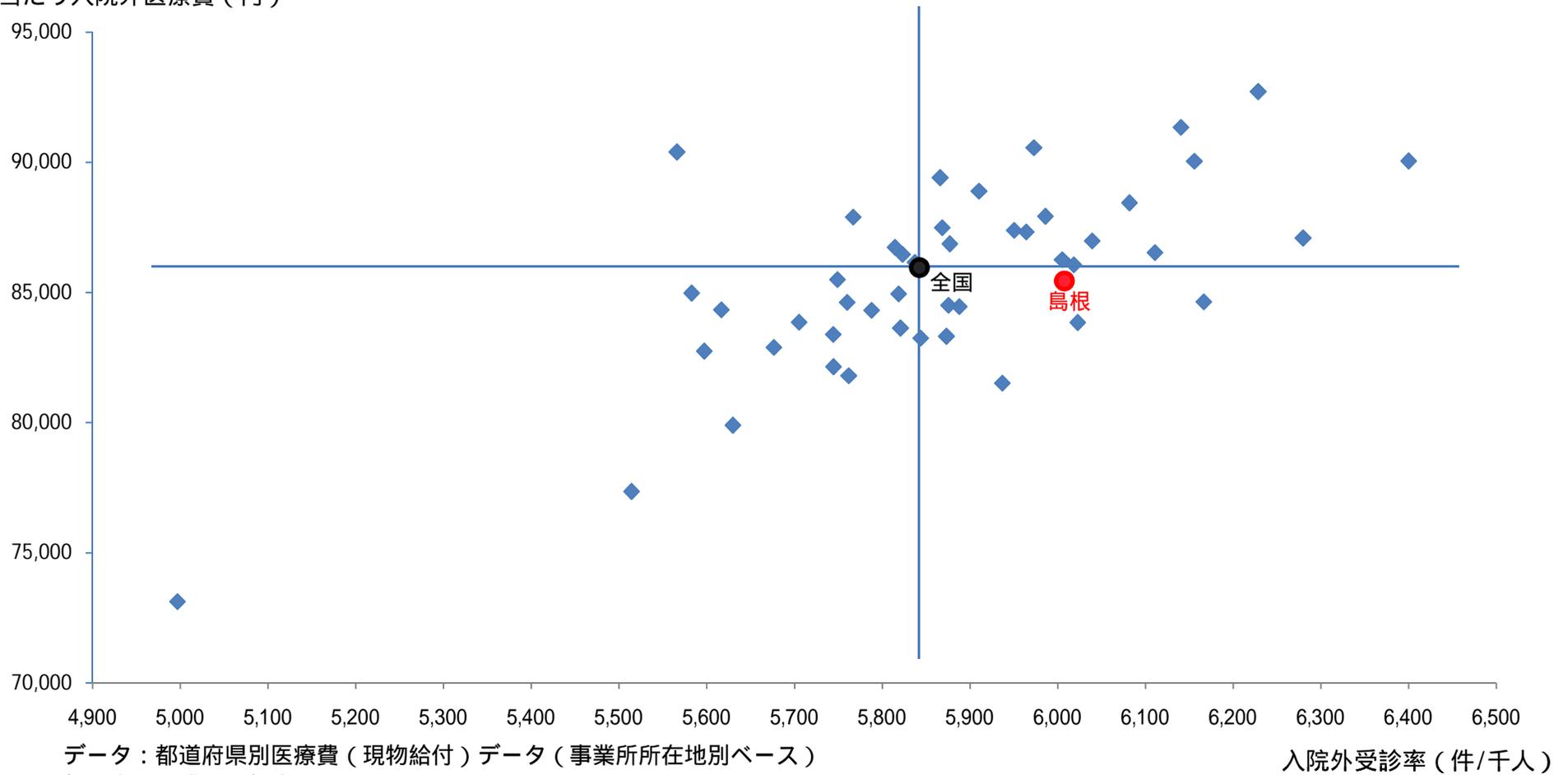
データ：都道府県別医療費（現物給付）データ（事業所所在地別ベース）
年次：平成20年度（4～3月）

入院受診率（件/千人）

島根支部は、入院の受診率・1人当たり医療費ともに全国値を大きく上回っている。また、全国的な傾向として、入院の受診率が増えるにつれ、入院にかかる医療費も増える傾向が見られる。

(3) 加入者1人当たりの入院外医療費と入院外受診率（平成20年度）

1人当たり入院外医療費（円）

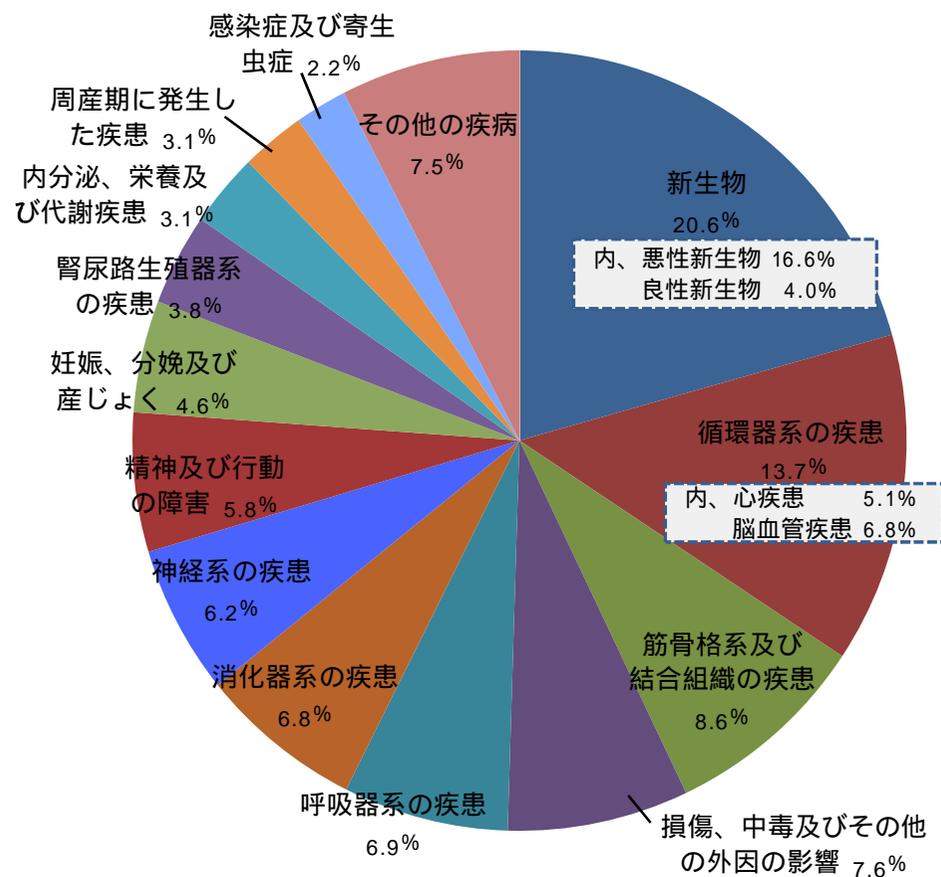


島根支部の入院外の受診率は、全国値を上回っているが、1人当たりの入院外医療費では全国値と同程度かやや下回っている。また、全国的な傾向として、入院外の受診率が増えると、入院外にかかる医療費も増える傾向が見られる。

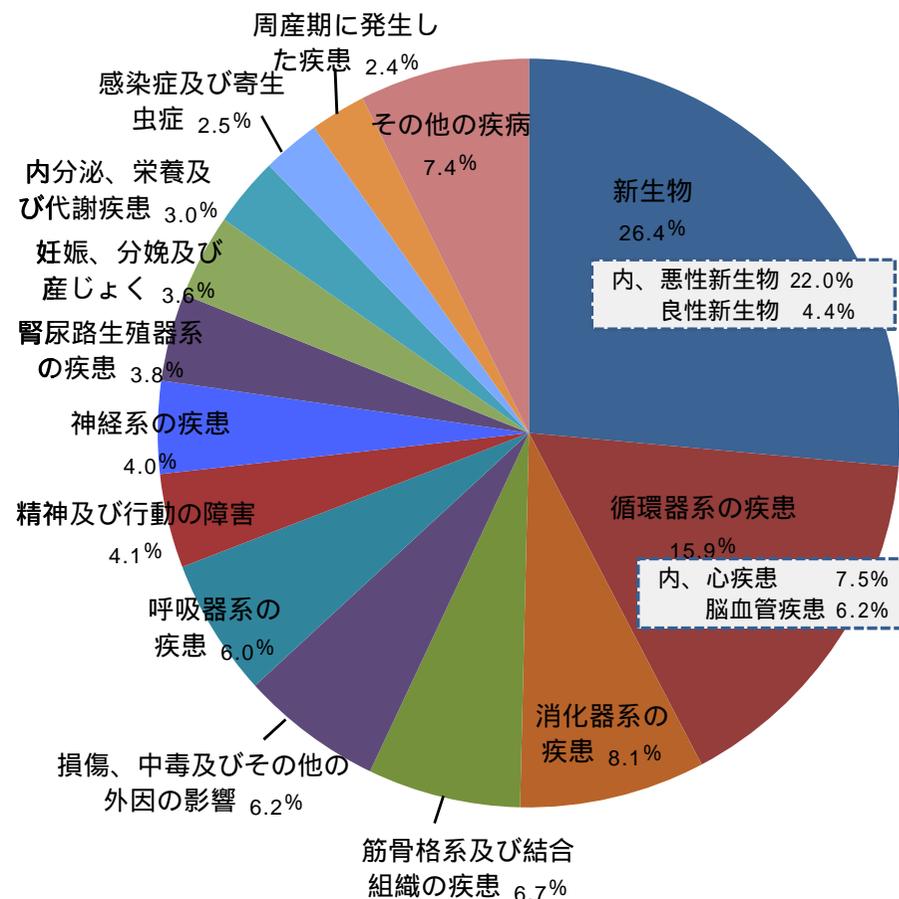
3. 医療費からみた疾病構造

(1) 入院医療費の構成比

島根支部入院医療費の内訳
(平成20年7月～平成21年3月)



全国入院医療費の内訳
(平成20年7月～平成21年3月)

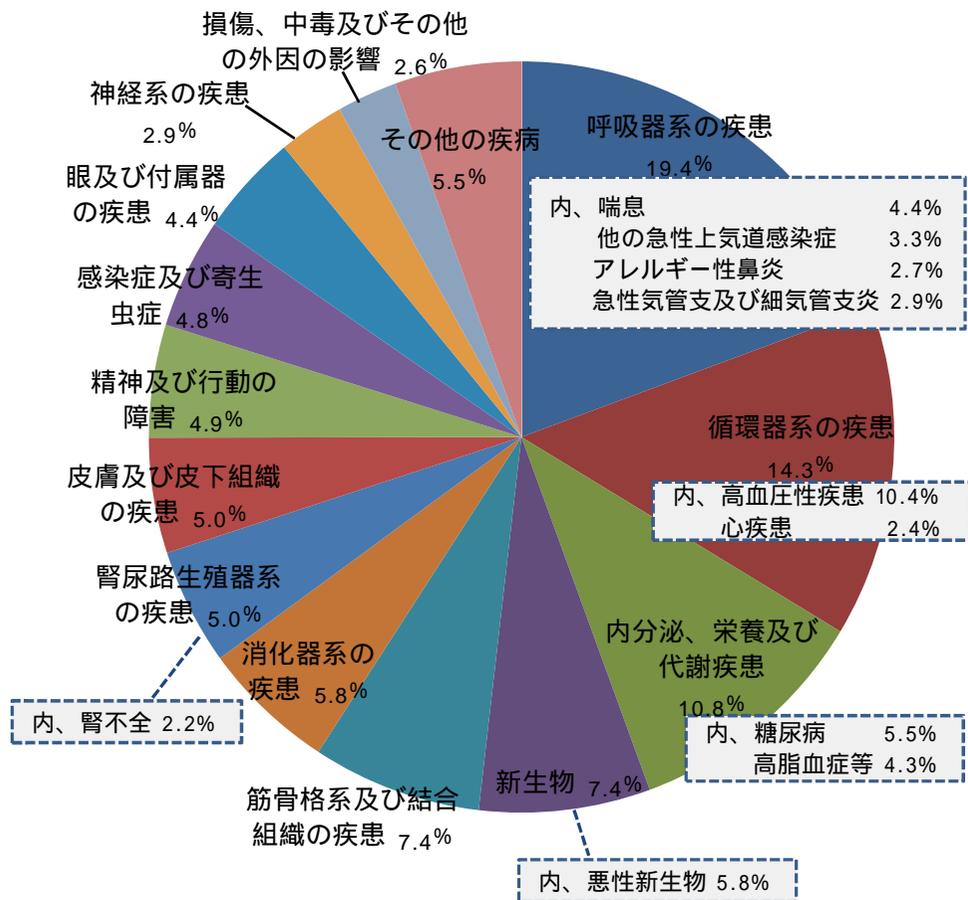


データ：平成20年7月～平成21年3月分のレセプトを集計した推計値（1カ月平均）

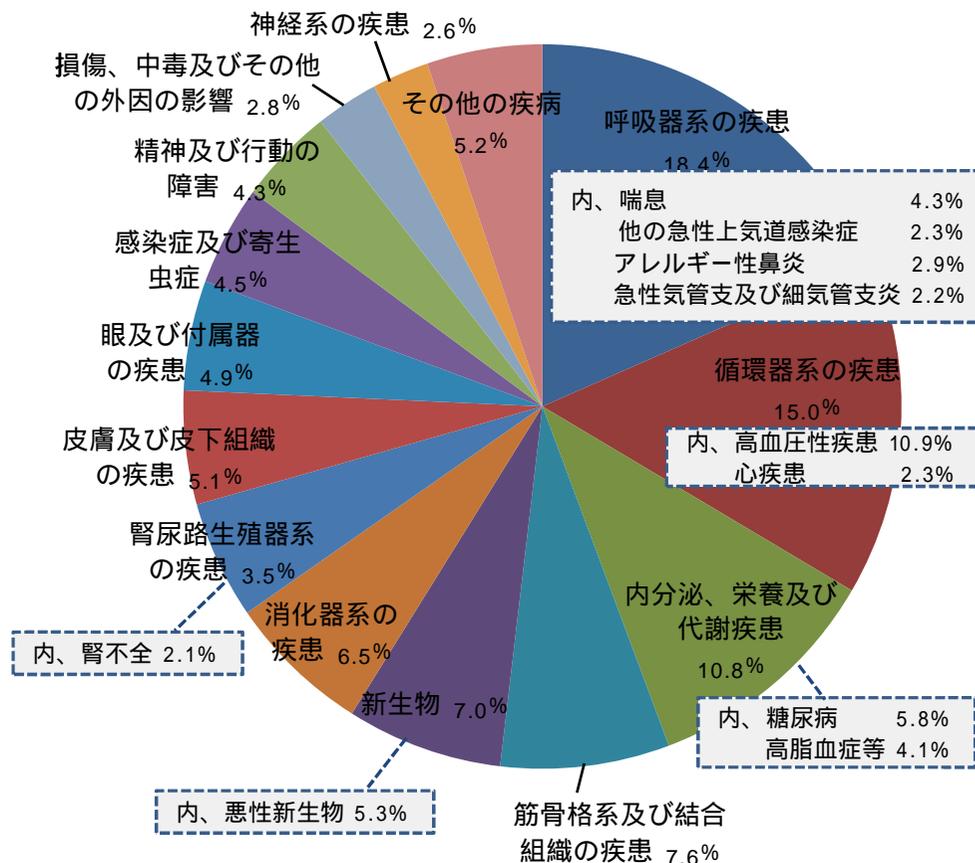
（ただし、入院については電子レセプトのみ、入院外については電子レセプト及び電算機で作成されたレセプト（続紙付レセプトを除く）であり、調剤レセプトを接続させている）

(2) 入院外医療費の構成比

島根支部入院外医療費の内訳
(平成20年7月～平成21年3月)



全国入院外医療費の内訳
(平成20年7月～平成21年3月)



データ：平成20年7月～平成21年3月分のレセプトを集計した推計値（1カ月平均）
(ただし、入院については電子レセプトのみ、入院外については電子レセプト及び電算機で作成されたレセプト（続紙付レセプトを除く）であり、調剤レセプトを接続させている)

(3) 年齢階級別疾病構造 (40～49歳)

島根支部 (入院)			
順位	傷病名	生活習慣病	割合
1	良性新生物		11.3%
2	他の悪性新生物		5.4%
3	白血病		5.4%
4	他の消化器系の疾患		4.3%
5	椎間板障害		3.6%
6	骨折		3.3%
7	脳内出血		3.2%
8	他の心疾患		3.2%
9	乳房の悪性新生物		3.0%
10	他の神経系の疾患		2.9%
上位10疾病のうち生活習慣病のしめる医療費の割合			20.2%

全国 (入院)			
順位	傷病名	生活習慣病	割合
1	良性新生物		10.0%
2	他の悪性新生物		6.5%
3	他の消化器系の疾患		5.6%
4	虚血性心疾患		3.6%
5	乳房の悪性新生物		3.4%
6	他の心疾患		3.0%
7	統合失調症及び妄想性障害		2.9%
8	他の損傷及び他の外因の影響		2.7%
9	他の神経系の疾患		2.5%
10	骨折		2.5%
上位10疾病のうち生活習慣病のしめる医療費の割合			16.6%

島根支部 (入院外)			
順位	傷病名	生活習慣病	割合
1	高血圧性疾患		8.1%
2	糖尿病		5.4%
3	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)		4.1%
4	他の内分泌, 栄養及び代謝疾患		3.9%
5	アレルギー性鼻炎		3.2%
6	良性新生物		3.2%
7	乳房の悪性新生物		3.0%
8	腎不全		2.8%
9	他の神経系の疾患		2.7%
10	他の消化器系の疾患		2.6%
上位10疾病のうち生活習慣病のしめる医療費の割合			20.5%

全国 (入院外)			
順位	傷病名	生活習慣病	割合
1	高血圧性疾患		8.9%
2	糖尿病		5.5%
3	他の内分泌, 栄養及び代謝疾患		3.9%
4	良性新生物		3.4%
5	アレルギー性鼻炎		3.3%
6	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)		3.1%
7	乳房の悪性新生物		2.8%
8	喘息		2.8%
9	他の消化器系の疾患		2.8%
10	腎不全		2.7%
上位10疾病のうち生活習慣病のしめる医療費の割合			21.1%

データ：統計システムより算定ベースで集計

年次：平成20年7月～平成21年3月(1ヶ月平均)

入院外には、突合できる調剤レセプト分を含む。構成割合は、傷病名が不祥のレセプトを除いた状態での割合

(4) 年齢階級別疾病構造 (50 ~ 59 歳)

島根支部 (入院)			
順位	傷病名	生活習慣病	割合
1	他の悪性新生物		7.1%
2	虚血性心疾患		4.5%
3	良性新生物		4.2%
4	統合失調症及び妄想性障害		4.1%
5	乳房の悪性新生物		3.8%
6	他の神経系の疾患		3.5%
7	他の消化器系の疾患		3.5%
8	骨折		3.4%
9	関節症		3.2%
10	脊椎障害(脊椎症を含む)		3.0%
上位10疾病のうち生活習慣病のしめる医療費の割合			15.4%

全 国 (入院)			
順位	傷病名	生活習慣病	割合
1	他の悪性新生物		9.9%
2	虚血性心疾患		5.7%
3	他の消化器系の疾患		4.4%
4	良性新生物		3.9%
5	肺の悪性新生物		3.8%
6	他の心疾患		3.6%
7	胃の悪性新生物		3.2%
8	脳内出血		2.8%
9	脳梗塞		2.7%
10	糖尿病		2.7%
上位10疾病のうち生活習慣病のしめる医療費の割合			34.4%

島根支部 (入院外)			
順位	傷病名	生活習慣病	割合
1	高血圧性疾患		16.7%
2	糖尿病		8.7%
3	他の内分泌, 栄養及び代謝疾患		5.8%
4	腎不全		4.4%
5	乳房の悪性新生物		2.3%
6	ウイルス肝炎		2.3%
7	炎症性多発性関節障害		2.2%
8	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)		2.0%
9	他の神経系の疾患		2.0%
10	他の消化器系の疾患		1.9%
上位10疾病のうち生活習慣病のしめる医療費の割合			33.5%

全 国 (入院外)			
順位	傷病名	生活習慣病	割合
1	高血圧性疾患		17.8%
2	糖尿病		8.9%
3	他の内分泌, 栄養及び代謝疾患		5.3%
4	腎不全		3.6%
5	乳房の悪性新生物		2.4%
6	炎症性多発性関節障害		2.2%
7	胃及び十二指腸潰瘍		2.1%
8	胃及び十二指腸炎		2.1%
9	他の眼及び付属器の疾患		2.0%
10	他の消化器系の疾患		2.0%
上位10疾病のうち生活習慣病のしめる医療費の割合			34.4%

データ：統計システムより算定ベースで集計

年 次：平成20年7月～平成21年3月(1ヶ月平均)

入院外には、突合できる調剤レセプト分を含む。構成割合は、傷病名が不祥のレセプトを除いた状態での割合

(5) 年齢階級別疾病構造 (60 ~ 69 歳)

島根支部 (入院)			
順位	傷病名	生活習慣病	割合
1	他の悪性新生物		10.9%
2	脳梗塞		4.6%
3	虚血性心疾患		4.5%
4	胃の悪性新生物		4.5%
5	他の神経系の疾患		4.2%
6	他の心疾患		4.1%
7	肺の悪性新生物		3.8%
8	他の消化器系の疾患		3.7%
9	関節症		3.6%
10	他の損傷及び他の外因の影響		3.3%
上位10疾病のうち 生活習慣病のしめる医療費の割合			32.4%

全 国 (入院)			
順位	傷病名	生活習慣病	割合
1	他の悪性新生物		11.1%
2	虚血性心疾患		7.6%
3	肺の悪性新生物		4.8%
4	他の心疾患		4.1%
5	他の消化器系の疾患		4.0%
6	胃の悪性新生物		3.9%
7	脳梗塞		3.7%
8	糖尿病		2.8%
9	結腸の悪性新生物		2.7%
10	良性新生物		2.7%
上位10疾病のうち 生活習慣病のしめる医療費の割合			40.8%

島根支部 (入院外)			
順位	傷病名	生活習慣病	割合
1	高血圧性疾患		20.5%
2	糖尿病		10.0%
3	他の内分泌, 栄養及び代謝疾患		5.4%
4	他の悪性新生物		2.7%
5	腎不全		2.6%
6	虚血性心疾患		2.5%
7	他の眼及び付属器の疾患		2.0%
8	他の神経系の疾患		1.9%
9	脊椎障害(脊椎症を含む)		1.9%
10	他の心疾患		1.9%
上位10疾病のうち 生活習慣病のしめる医療費の割合			43.0%

全 国 (入院外)			
順位	傷病名	生活習慣病	割合
1	高血圧性疾患		21.0%
2	糖尿病		10.4%
3	他の内分泌, 栄養及び代謝疾患		5.4%
4	腎不全		2.9%
5	虚血性心疾患		2.4%
6	他の悪性新生物		2.4%
7	他の眼及び付属器の疾患		2.2%
8	脊椎障害(脊椎症を含む)		2.2%
9	胃及び十二指腸炎		1.9%
10	胃及び十二指腸潰瘍		1.8%
上位10疾病のうち 生活習慣病のしめる医療費の割合			41.7%

データ：統計システムより算定ベースで集計

年 次：平成20年7月～平成21年3月(1ヶ月平均)

入院外には、突合できる調剤レセプト分を含む。構成割合は、傷病名が不祥のレセプトを除いた状態での割合

(6) 年齢階級別疾病構造 (70歳 ~)

島根支部 (入院)			
順位	傷病名	生活習慣病	割合
1	関節症		7.2%
2	脳梗塞		7.0%
3	他の悪性新生物		5.5%
4	骨折		4.5%
5	虚血性心疾患		3.9%
6	統合失調症及び妄想性障害		3.8%
7	他の損傷及び他の外因の影響		3.6%
8	脳内出血		3.4%
9	他の消化器系の疾患		3.2%
10	他の神経系の疾患		3.2%
上位10疾病のうち 生活習慣病のしめる医療費の割合			19.9%

全 国 (入院)			
順位	傷病名	生活習慣病	割合
1	他の悪性新生物		9.3%
2	虚血性心疾患		7.1%
3	脳梗塞		5.4%
4	他の心疾患		4.4%
5	肺の悪性新生物		4.1%
6	関節症		3.9%
7	骨折		3.6%
8	他の消化器系の疾患		3.6%
9	胃の悪性新生物		3.5%
10	糖尿病		2.9%
上位10疾病のうち 生活習慣病のしめる医療費の割合			36.6%

島根支部 (入院外)			
順位	傷病名	生活習慣病	割合
1	高血圧性疾患		21.8%
2	糖尿病		9.4%
3	他の内分泌, 栄養及び代謝疾患		4.8%
4	虚血性心疾患		3.1%
5	他の心疾患		3.0%
6	他の悪性新生物		2.9%
7	関節症		2.8%
8	脊椎障害(脊椎症を含む)		2.6%
9	他の眼及び付属器の疾患		2.5%
10	脳梗塞		2.2%
上位10疾病のうち 生活習慣病のしめる医療費の割合			47.2%

全 国 (入院外)			
順位	傷病名	生活習慣病	割合
1	高血圧性疾患		21.4%
2	糖尿病		9.5%
3	他の内分泌, 栄養及び代謝疾患		4.7%
4	脊椎障害(脊椎症を含む)		3.4%
5	関節症		3.0%
6	他の悪性新生物		3.0%
7	虚血性心疾患		2.8%
8	脳梗塞		2.5%
9	他の眼及び付属器の疾患		2.4%
10	腎不全		2.0%
上位10疾病のうち 生活習慣病のしめる医療費の割合			43.9%

データ：統計システムより算定ベースで集計

年 次：平成20年7月～平成21年3月(1ヶ月平均)

入院外には、突合できる調剤レセプト分を含む。構成割合は、傷病名が不祥のレセプトを除いた状態での割合

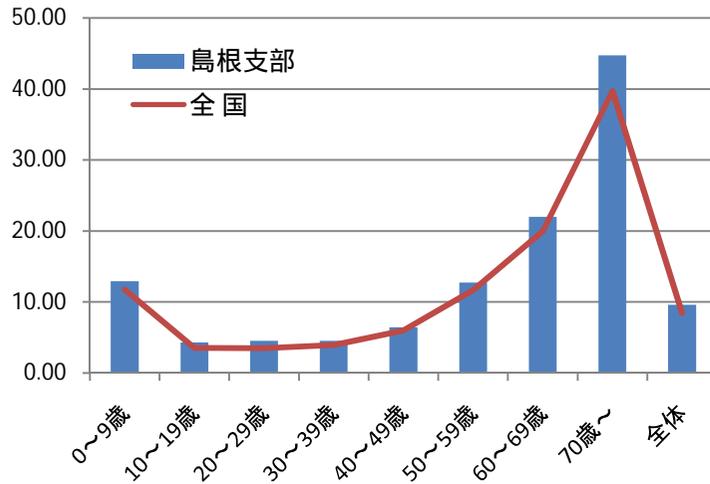
4. 性・年齢階級別による医療費の比較

(1) 男性

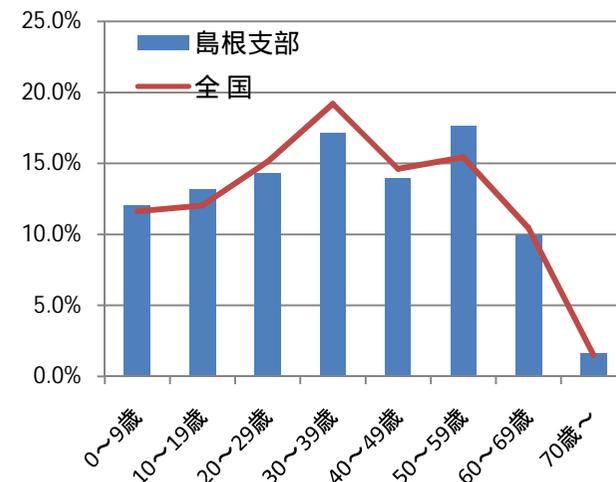
1人当たり医療費（入院）



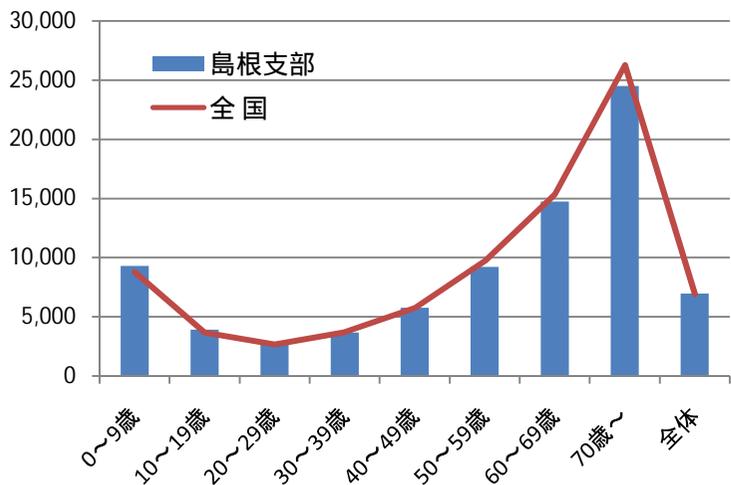
受診率（入院）



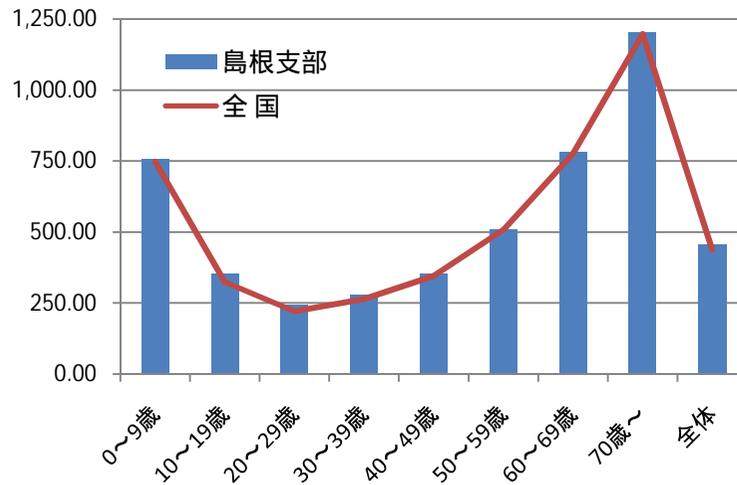
(参考)
年齢階級ごとの加入者割合



1人当たり医療費（入院外）



受診率（入院外）



データ：統計システムより集計
年次：平成20年9月～平成21年3月（1ヶ月平均）

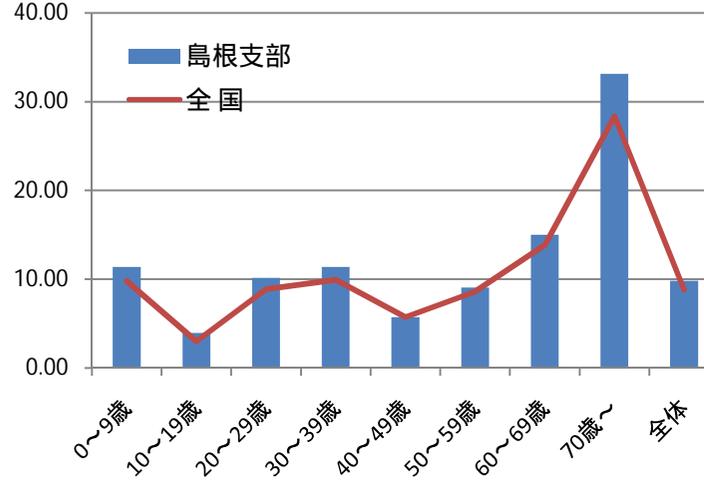
データ：統計システムより算定ベースで集計
年次：平成20年7月～平成21年3月（1ヶ月平均）

(2) 女性

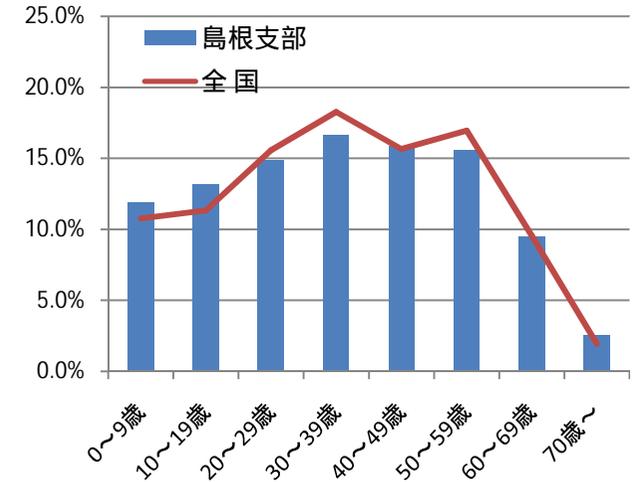
1人あたり医療費（入院）



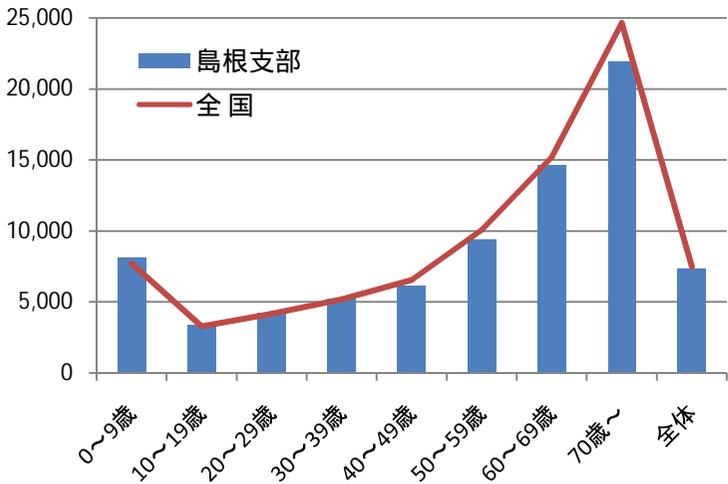
受診率（入院）



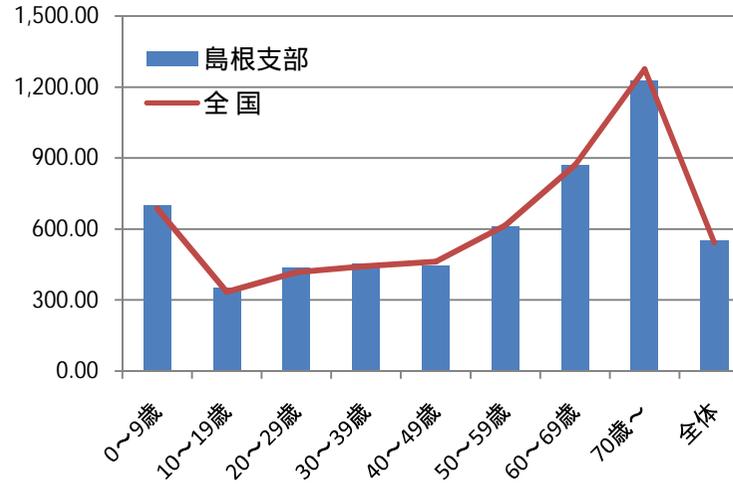
(参考) 年齢階級ごとの加入者割合



1人あたり医療費（入院外）



受診率（入院外）



データ：統計システムより集計
年次：平成20年9月～平成21年3月（1ヶ月平均）

データ：統計システムより算定ベースで集計
年次：平成20年7月～平成21年3月（1ヶ月平均）

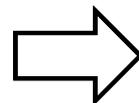
・健診データをベースとした分析

1. 健診における各種リスクの判断基準の変更

メタボリックシンドロームの判断基準

< ~ 平成19年度まで >

BMI ()	
BMI	2.5
上記に加え以下のうちの2項目以上	
中性脂肪	150 mg/dl
または、HDLコレステロール < 40 mg/dl	
収縮期血圧	130 mmHg
または、拡張期血圧 85 mmHg	
空腹時血糖値	110 mg/dl



< 平成20年度 ~ >

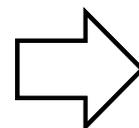
腹 囲	
男性	85 cm
女性	90 cm
上記に加え以下のうちの2項目以上	
中性脂肪	150 mg/dl
または、HDLコレステロール < 40 mg/dl	
収縮期血圧	130 mmHg
または、拡張期血圧 85 mmHg	
空腹時血糖値	110 mg/dl

() 平成19年度までは、健診項目に腹囲がなかったため、腹囲の代わりにBMIにより判断

統計上のリスク保有の有無基準

< ~ 平成19年度まで >

B M I	BMI (肥満度) 2.5
血 圧	収縮期血圧 130 mmHg または、拡張期血圧 85 mmHg
中 性 脂 肪	中性脂肪 150 mg/dl
HDLコレステロール	HDLコレステロール 40 mg/dl
空 腹 時 血 糖	空腹時血糖 110 mg/dl
喫 煙	問診票で喫煙していると回答



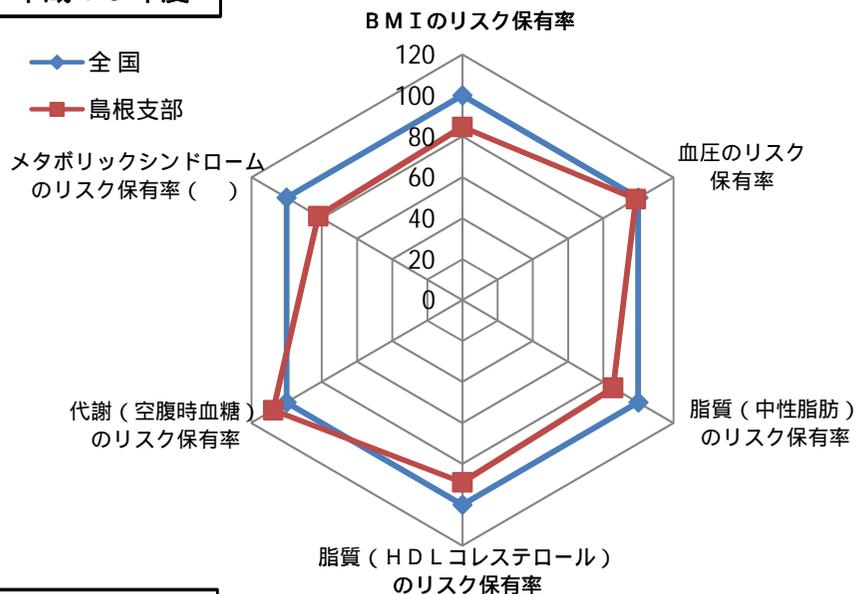
< 平成20年度 ~ >

腹 囲	男性 85 cm 女性 90 cm
血 圧	収縮期血圧 130 mmHg または、拡張期血圧 85 mmHg
脂 質	中性脂肪 150 mg/dl または、 HDLコレステロール < 40 mg/dl
代 謝	空腹時血糖 110 mg/dl
B M I	BMI (肥満度) 2.5
喫 煙	問診票で喫煙していると回答

(注) 特定保健指導における階層化の基準とは、必ずしも一致しない

2. 健診データに関するレーダーチャート

平成19年度

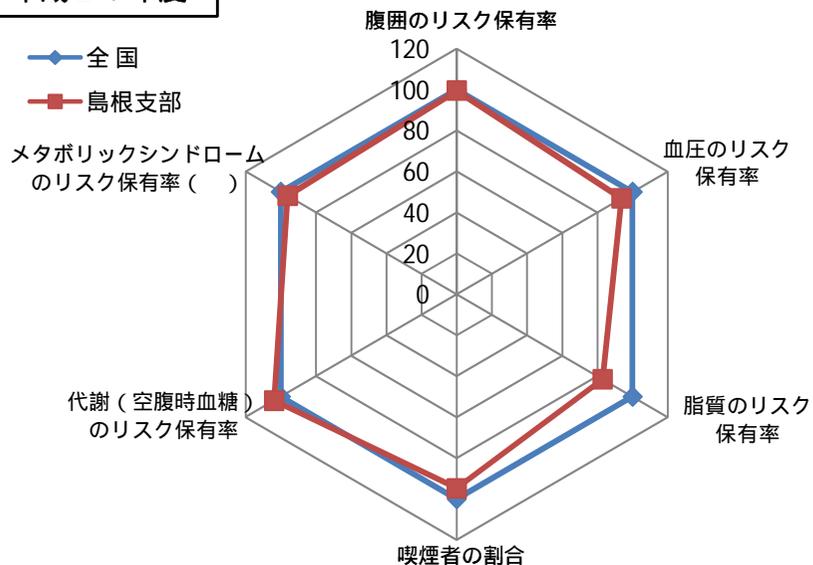


黄色の箇所は、全国値よりもリスク保有率が高い項目

健診の指標	島根支部			全国		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
メタボリックシンドロームのリスク保有率	7.8%	10.3%	3.6%	9.5%	12.5%	3.9%
BMIのリスク保有率	22.2%	25.4%	16.7%	26.3%	30.7%	17.9%
血圧のリスク保有率	37.7%	43.0%	28.9%	38.2%	43.6%	28.1%
脂質（中性脂肪）のリスク保有率	19.4%	26.3%	7.7%	22.6%	29.8%	8.7%
脂質（HDLコレステロール）のリスク保有率	5.0%	7.3%	1.2%	5.7%	8.0%	1.2%
代謝（空腹時血糖）のリスク保有率	16.0%	20.3%	8.7%	14.9%	18.8%	7.4%

データ：政府管掌健康保険生活習慣病予防健診データ
年次：平成19年度

平成20年度

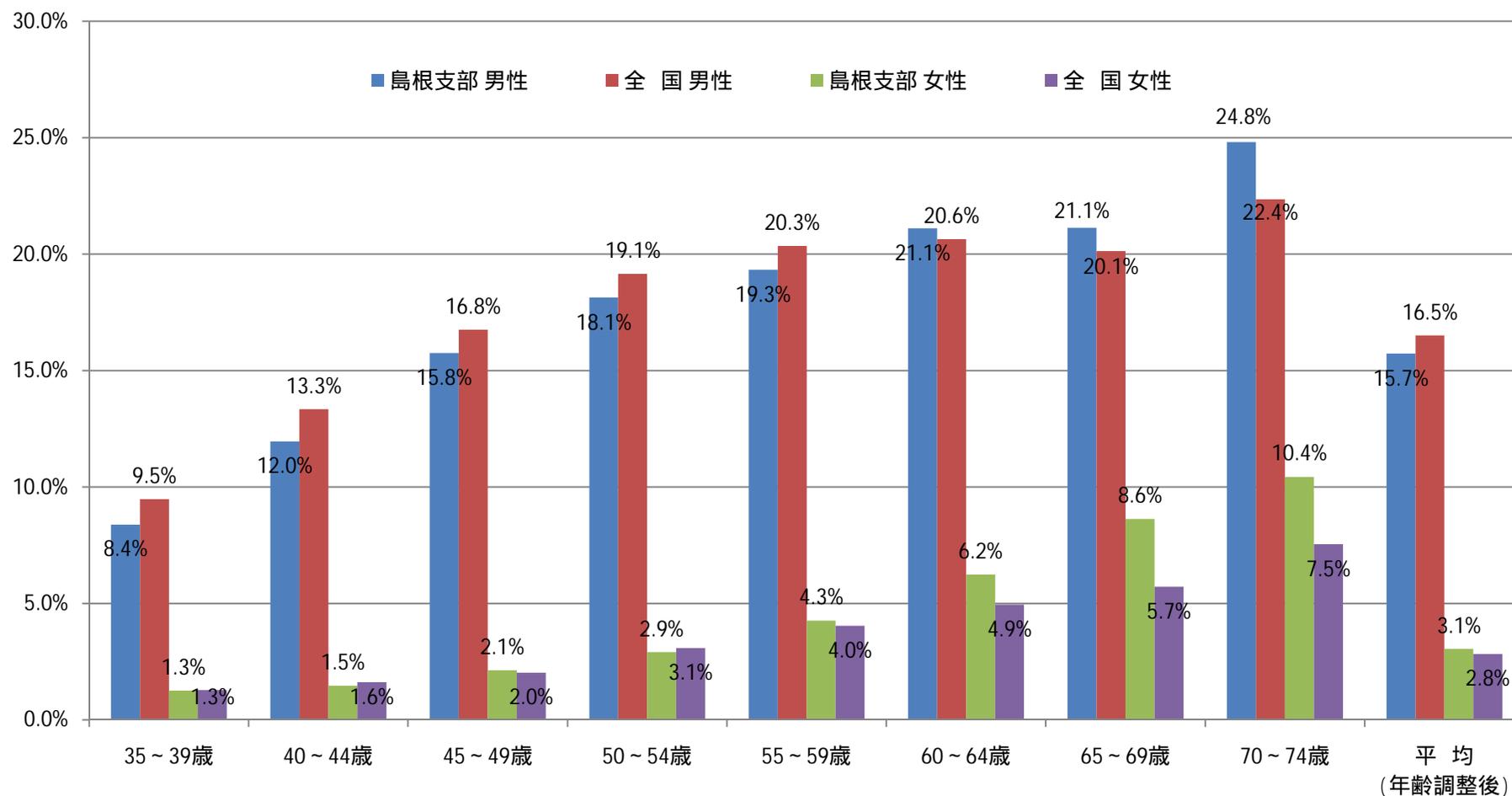


健診の指標	島根支部			全国		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
メタボリックシンドロームのリスク保有率	11.4%	16.0%	3.2%	11.9%	16.5%	2.8%
腹囲のリスク保有率	33.8%	44.3%	14.5%	34.0%	45.2%	11.9%
血圧のリスク保有率	34.8%	40.5%	25.0%	37.1%	42.3%	26.8%
脂質のリスク保有率	20.3%	27.7%	7.7%	24.5%	32.3%	9.0%
代謝（空腹時血糖）のリスク保有率	14.9%	19.0%	7.9%	14.4%	18.1%	7.0%
喫煙者の割合	37.1%	52.9%	10.1%	39.2%	49.9%	18.0%
BMIのリスク保有率(参考)	22.5%	25.8%	16.8%	26.2%	30.6%	17.6%
脂質（中性脂肪）のリスク保有率(参考)	18.8%	25.5%	7.2%	22.4%	29.5%	8.4%
脂質（HDLコレステロール）のリスク保有率(参考)	4.1%	5.9%	1.0%	5.9%	8.2%	1.2%

データ：協会けんぽ生活習慣病予防健診（一般健診、付加健診）データ
年次：平成20年度

() P14のメタボリックシンドロームの判断基準により算出

3. 年齢階級別メタボリックリスク保有者の割合（平成20年度）

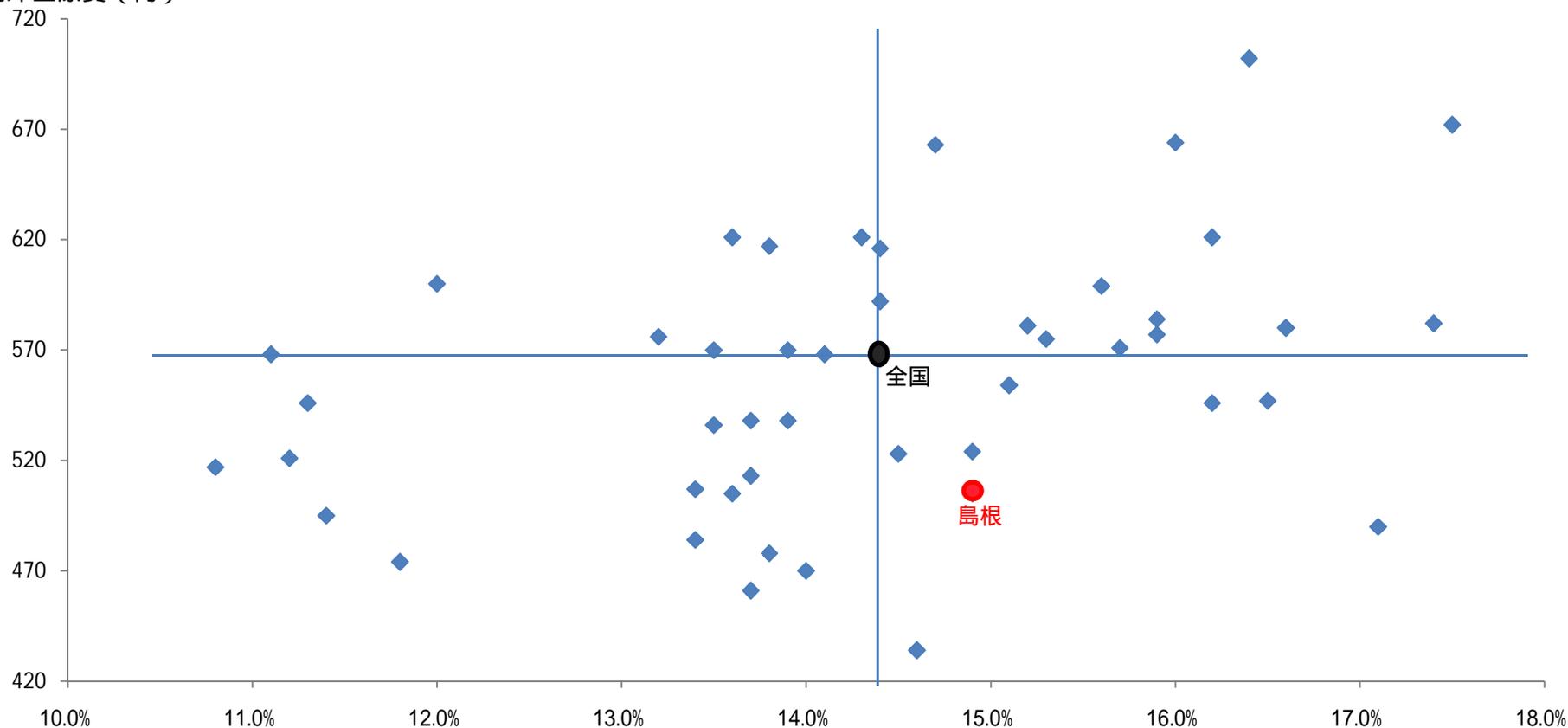


島根支部は、男性女性ともに50歳代までは、メタボリックリスク保有者の割合が全国値と同程度か下回っているが、60歳を過ぎると全国値を上回っている。

4. 健診受診者の疾病別の1人当たり入院外医療費とリスク保有割合

(1) 糖尿病(平成20年度 被保険者)

糖尿病の1人当たり
入院外医療費(円)



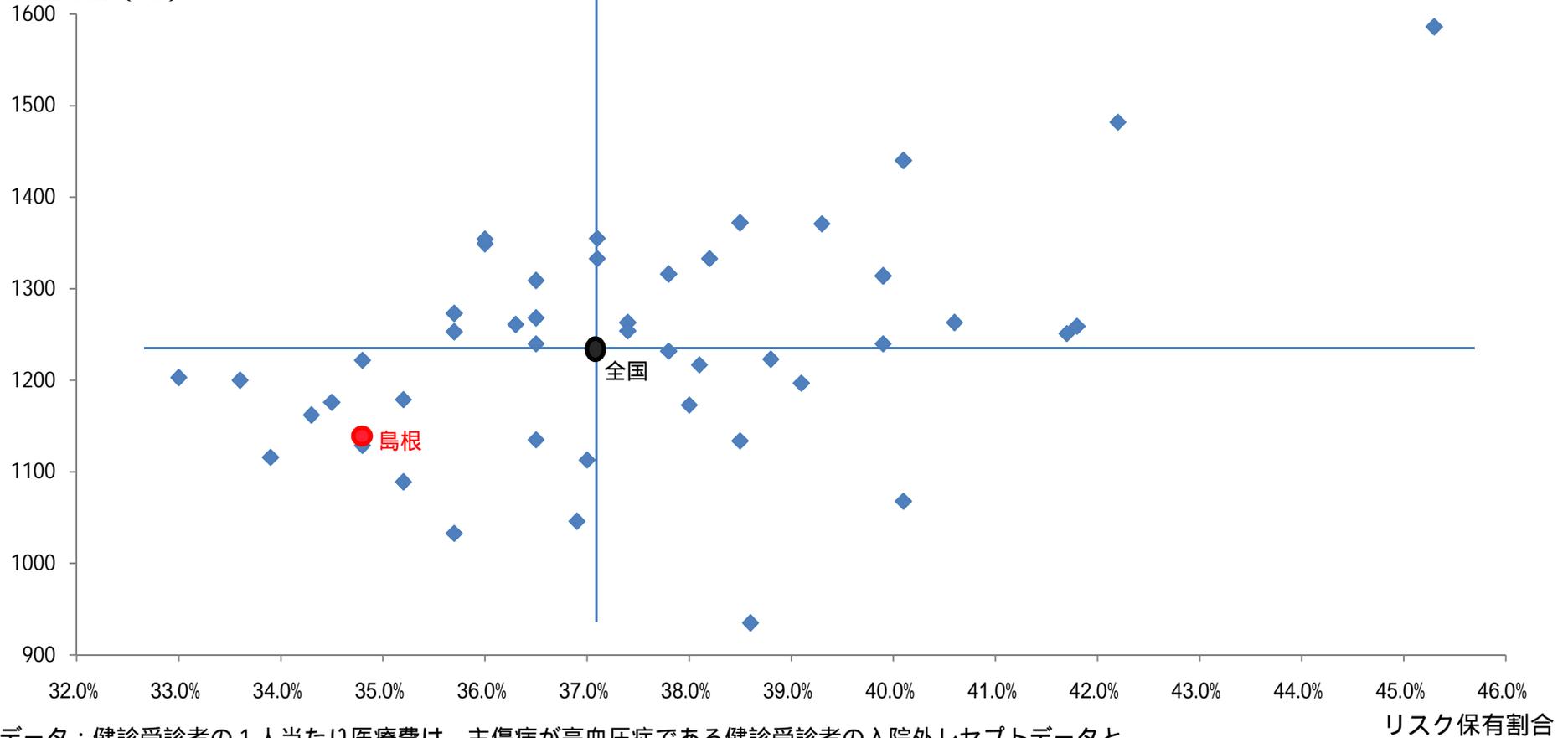
データ：健診受診者の1人当たり医療費は、主傷病が糖尿病である健診受診者の入院外レセプトデータと健診受診者数を使用した推計値であり、平成20年7月～平成21年3月における1ヶ月の平均(入院外の医療費には調剤分を含む)

リスク保有割合

島根支部は、糖尿病のリスク保有率は全国値と比べ高いが、1人当たり医療費は低い。

(2) 高血圧症 (平成20年度 被保険者)

高血圧症の1人当たり
入院外医療費 (円)

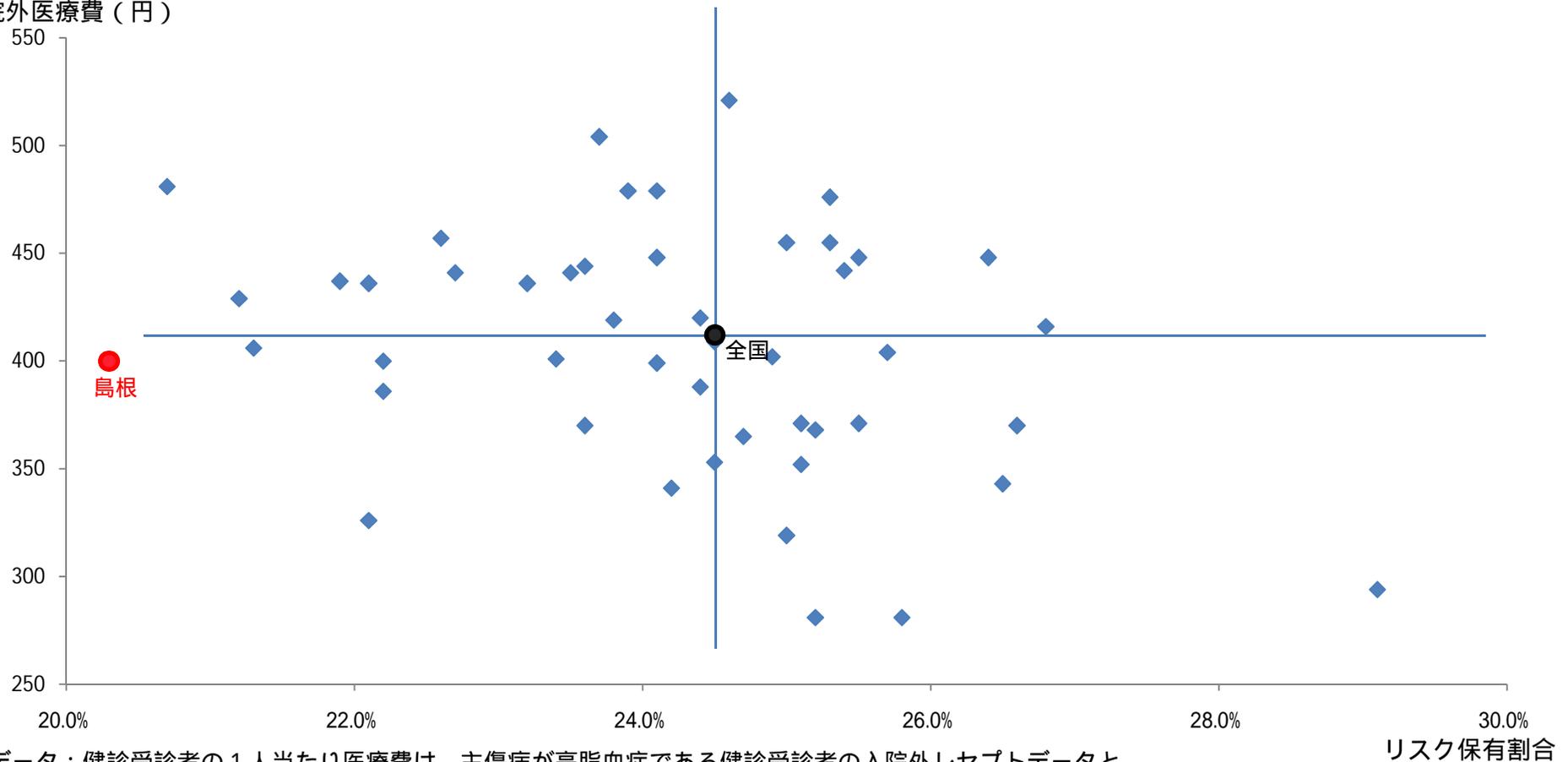


データ：健診受診者の1人当たり医療費は、主傷病が高血圧症である健診受診者の入院外レセプトデータと健診受診者数を使用した推計値であり、平成20年7月～平成21年3月における1ヶ月の平均 (入院外の医療費には調剤分を含む)

島根支部は、高血圧症にかかるリスク保有率も1人当たり医療費も全国値を下回っている。

(3) 高脂血症 (平成20年度 被保険者)

高脂血症の1人当たり
入院外医療費 (円)



データ：健診受診者の1人当たり医療費は、主傷病が高脂血症である健診受診者の入院外レセプトデータと健診受診者数を使用した推計値であり、平成20年7月～平成21年3月における1ヶ月の平均 (入院外の医療費には調剤分を含む)

島根支部は、他と比べても高脂血症のリスク保有率は低いが、1人当たり医療費は全国値と同程度である。

医療救急体制

1. 医療機関数・病床数・平均在院日数（都道府県単位）

人口10万対病院数 (軒/10万人)		
順位	全国	6.9
1	高知県	18.1
2	鹿児島県	16.0
3	徳島県	15.0
4	大分県	13.8
5	佐賀県	12.9
6	宮崎県	12.8
7	熊本県	11.9
8	長崎県	11.5
9	北海道	10.7
10	富山県	10.3

人口10万対病院病床数 (床/10万人)		
順位	全国	1,260.4
1	高知県	2,477.9
2	鹿児島県	2,058.1
3	熊本県	1,967.4
4	長崎県	1,930.0
5	徳島県	1,920.9
6	山口県	1,888.3
7	北海道	1,826.0
8	佐賀県	1,800.7
9	宮崎県	1,766.5
10	大分県	1,737.3

人口10万対一般診療所数 (軒/10万人)		
順位	全国	77.6
1	和歌山県	105.7
2	島根県	102.8
3	長崎県	99.9
4	徳島県	98.0
5	東京都	97.9
6	京都府	95.7
7	大阪府	93.1
8	広島県	91.2
9	鳥取県	88.6
10	山口県	88.4

人口10万対一般診療所病床数 (床/10万人)		
順位	全国	114.8
1	鹿児島県	406.8
2	大分県	393.6
3	長崎県	382.8
4	熊本県	363.4
5	佐賀県	357.8
6	徳島県	341.1
7	宮崎県	340.4
8	愛媛県	307.5
9	青森県	286.0
10	香川県	238.4

平均在院日数(日)		
順位	全国	33.8
1	高知県	53.4
2	佐賀県	51.7
3	鹿児島県	49.2
4	山口県	48.0
5	徳島県	47.5
6	熊本県	45.9
7	長崎県	44.6
8	宮崎県	43.2
9	福岡県	41.6
10	北海道	39.4

20	島根県	7.9
----	-----	-----

14	島根県	1,622.6
----	-----	---------

41	青森県	67.4
----	-----	------

26	島根県	121.4
----	-----	-------

23	島根県	34.6
----	-----	------

43	静岡県	4.8
44	千葉県	4.6
45	愛知県	4.5
46	滋賀県	4.3
47	神奈川県	3.9

43	岐阜県	997.6
44	愛知県	922.8
45	千葉県	922.7
46	埼玉県	885.5
47	神奈川県	832.2

41	愛知県	67.4
43	北海道	61.0
44	千葉県	59.5
45	沖縄県	58.6
46	茨城県	56.9
47	埼玉県	55.7

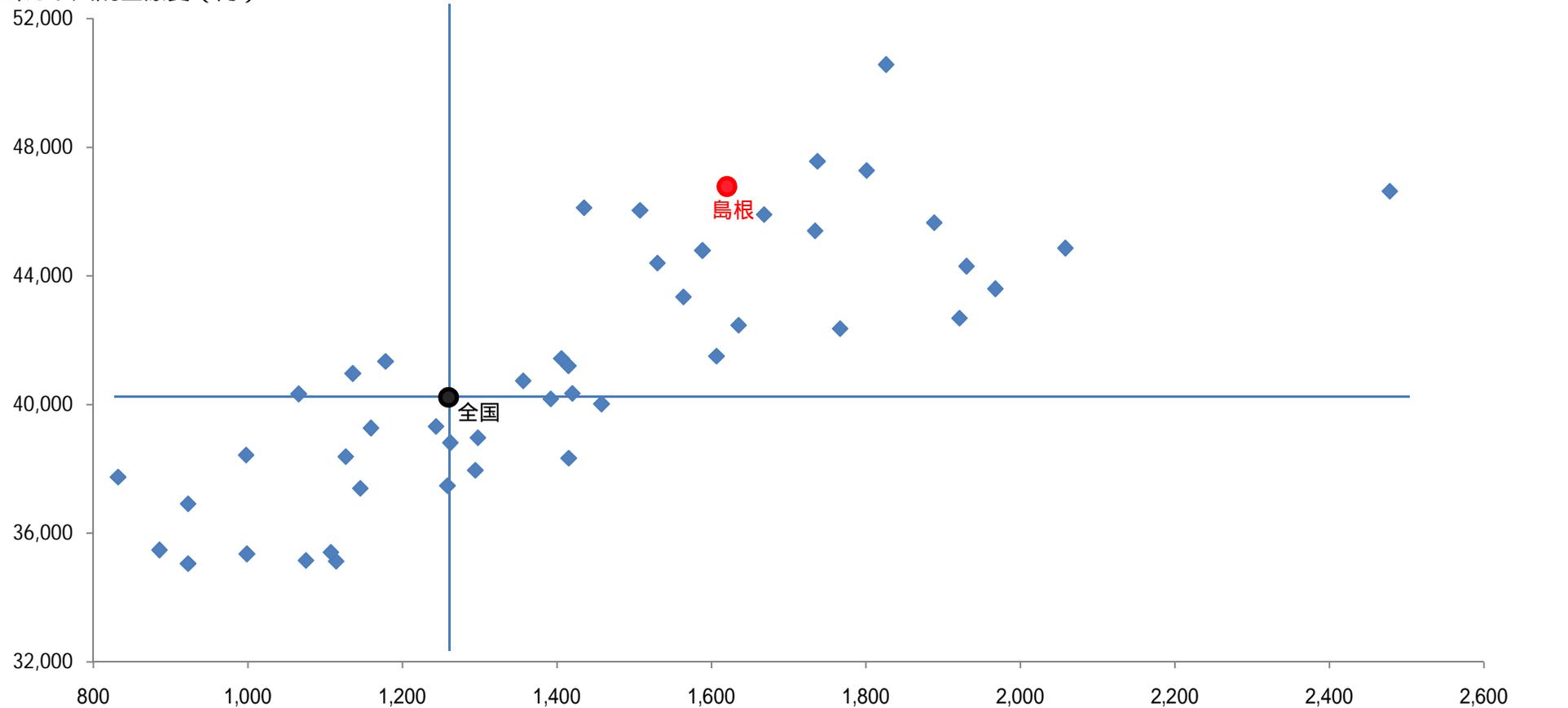
43	新潟県	49.6
44	東京都	42.9
45	滋賀県	41.4
46	大阪府	39.4
47	神奈川県	38.5

43	愛知県	28.7
44	岐阜県	27.6
45	長野県	26.6
46	神奈川県	26.2
47	東京都	26.0

2. 医療救急体制と医療費の相関関係

(1) 加入者1人当たりの入院医療費と人口10万対病院病床数（平成20年度）

1人当たり入院医療費（円）



データ：都道府県別医療費（現物給付）データ（事業所所在地別ベース）

医療施設調査

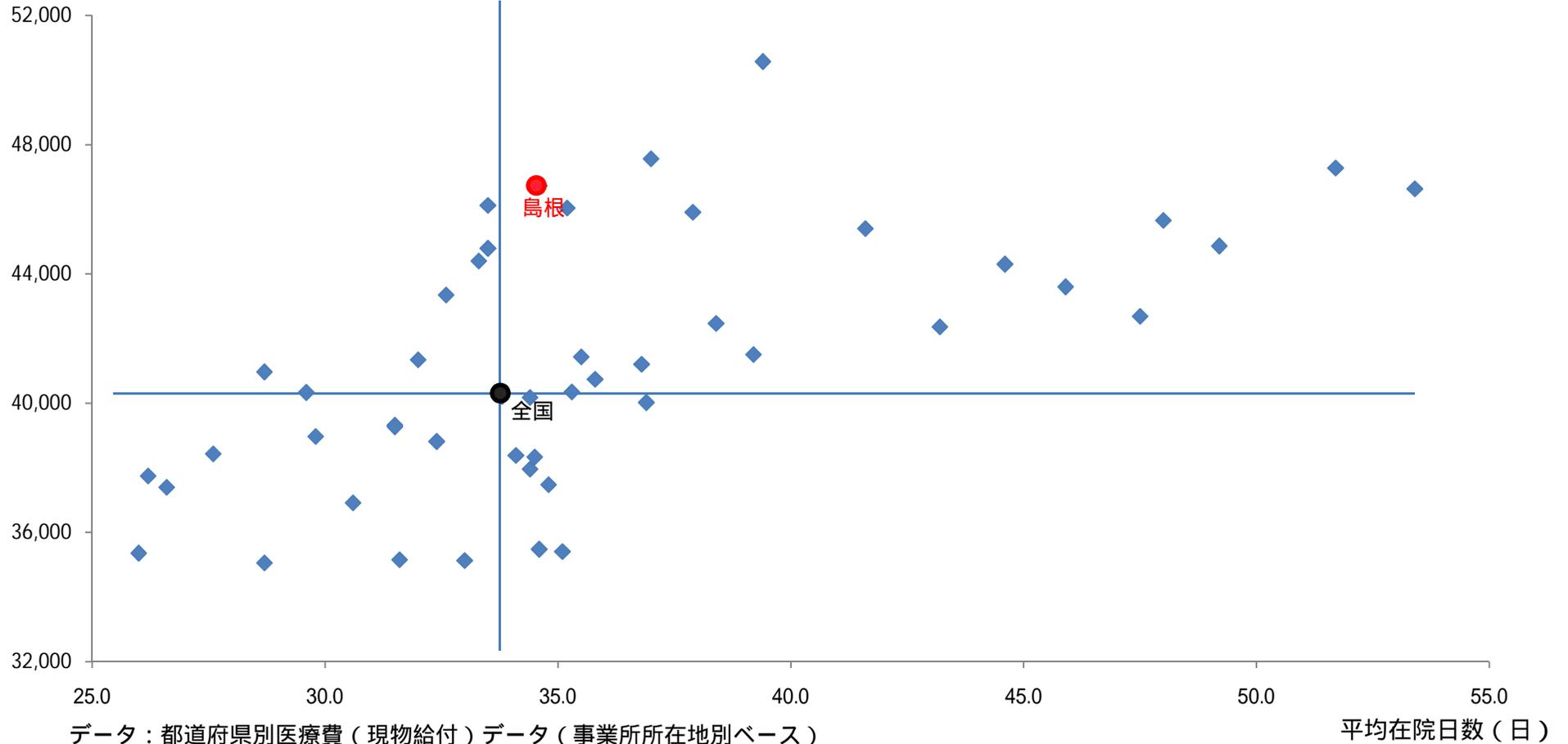
年次：平成20年度（4～3月）

人口10万対病院病床数（床/10万人）

島根支部は、人口10万対病院病床・1人当たり医療費ともに全国値を上回っている。また、全国的な傾向として、病院病床数が増えるにつれ医療費も増える傾向が見られる。

(2) 加入者1人当たりの入院医療費と平均在院日数 (平成20年度)

1人当たり入院医療費 (円)



島根支部は、平均在院日数・1人当たり医療費ともに全国値を上回っている。

．現状の傾向・今後の取組みについて

現状の傾向

1人当たり医療費の伸び率が全国値に比べ高くなっている

1人当たり医療費については、入院外よりも入院にかかる医療費の割合が多い。さらに、1人当たり入院医療費を構成する3要素では、全国値よりも入院受診率が高く、入院1件当たりの日数が長い

1人当たり入院医療費・入院受診率を性別・年齢階級別に比較すると、男女とも年齢が高くなるほど高くなっていき、70歳以上では全国値を大きく上回っている

健診指標である各リスクのうち、代謝（空腹時血糖）リスクのみが男女ともに全国値を上回っている

メタボリスクの保有者を年齢階級別に比較すると、男女ともに、60歳を超えたあたりから、全国値を上回っている

今後の取組み

今後、レセプトの電子化が進むことで蓄積する疾病情報データの分析を行い、疾病ごとの受診率や1人当たり医療費を算出し、島根支部における特有の疾病分析や対応策となる保健事業の検討を推進する

有識者との意見交換（島根支部、または島根県の疾病等における傾向を分析するため）実施に向けた検討を推進する

年齢が高くなるほど（60歳前後）、健診におけるリスク保有率及び1人当たり入院医療費が全国と比較して高くなることから、50歳代までの健診・保健指導を通じた健康意識の向上を図り、医療費の適正化を目指す

ジェネリック医薬品の使用促進として、削減効果通知等の協会けんぽ事業はもとより、島根県後発医薬品安心使用促進協議会や島根県保険者協議会での事業の検討を行う

分析した医療費等の情報や健康増進関連の情報、健康保険証の使用方法など医療機関受診時の注意点等を加入者の皆様へ広報し、健康意識の向上や医療費の適正化を目指す